

みんなの笑顔が 広がりました

人権週間(12/4~12/10)じんけん講演会

『笑いで世界をひとつに~日本の文化に魅せられた私~』
12月8日(木) Miraieにて イギリス出身の英語落語家 ダイアン吉日さん

私は人を笑わせることが好きです。東日本大震災後には、自分は人を笑わせることができると考え、東北の人々と交流をしました。人の笑顔を見たかったのです。人は、笑うことでつらいことから強くなり、乗り越えることができるようになります。バルーンアートをすることで、子どもたちが笑顔になりました。笑うことでいつでも、どこでも、どここの国の人も、言語や宗教や年齢に関係なくつながりを持つことができます。笑うことの大切さをもっと多くの人に伝えたいと思っています。



にしわきっ子じんけん教室

収穫祭(お餅つき大会)

12月17日(土) 黒田庄隣保館にて

黒田庄地区の子どもたちが地域の歴史にふれながら、田植えに始まり、稲刈り、地区文化祭への参加、収穫祭と、年間を通して、一つのフィールドで参加体験型の交流学习を行いました。

収穫祭の日には、子どもたちと地域の方々とともに喜びを込めて、お餅をつきました。



さつまいも料理教室

2月4日(土) Miraie 調理室にて

じんけん教室の活動で育てた、さつまいもを使って、いもご飯、さつまいも汁、スイートポテトを作りました。講師の先生から、わかりやすく作り方を教えてもらって、参加されたみなさんで助け合って作りました。楽しい食事タイムの後は、節分にちなんで季節のお話をいただき、これから1年間の健康を大切にしていきたいという思いを新たにしました。



市内で活躍されている方を紹介します

兵庫県人権啓発協会の「のじぎく文芸賞」において、西脇市の藤本 忍さんが3年連続受賞されました。

平成26年度 優秀賞

創作童話部門(一般の部) 「心の色」

平成27年度 優秀賞

創作童話部門(一般の部) 「約束」

平成28年度 佳作

創作童話部門(一般の部) 「友達」



兵庫県定時制通信制高等学校生徒生活体験発表大会において西脇北高校3年 藤原すみれさんが最優秀賞に輝き、全国大会(東京・六本木ヒルズ)でも発表されました。

藤原さんは「誰もが過ごしやすい社会に」と題して体験発表をされました。アルバイトを探そうとした時、障がいがあることを理由に断られた体験をもとに、障がいのある人もない人も誰もが住みよいまちづくりについて熱く語られました。



市民の皆様へ

西脇市では、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」のもと、全ての市民がいきいきと暮らし、それぞれの夢や希望がかなえられ、活躍できる社会の実現を目指し、取組を進めようとしています。

地域で支える子育て環境や教育環境の充実、男女共同参画の推進など、人口減少社会の中でコミュニティの強化を図っていくことが大切です。

様々な社会環境の変革の波に直面していく中で、新たな人権課題も生まれてきており、今後も人権確立のまちづくりを目指す中で、市民一人ひとりが、人権意識を高めていくことが大切です。

本年度の「ゆきちゃんからのメッセージ」は、「しあわせづくり、まちづくり」をテーマに、ゆきちゃんの家族が同和問題をはじめ様々な人権課題について学び合う姿を紹介し、身近なところから生活を見つ

め直すことで、新たな前進につながることを期待しております。

全ての市民が、自分や周りの人々を大切にできるまち、いきいきと暮らせるまちの創造に向けてこの資料が研修会等で活用され、人権文化の息づく「ふるさと西脇」づくりに寄与できることを願っております。



【子どもたちが元気に遊ぶ西が丘複合施設Miraie】

平成29年3月
西脇市教育長 笹倉 邦好